



スーパー グローバル ハイスクール

# 佐高 *SGH*通信 2018

No. 23 (平成30年 11月30日発行)

佐高 SGH ファイル

## 平成30年度「とちぎの高校生課題研究等発表会」及び「グローバル人材育成講演会」参加

平成30年11月19日(月)に、宇都宮市で行なわれた栃木県教育委員会主催の「とちぎの高校生課題研究等発表会」及び「グローバル人材育成講演会」に本校の4名が参加してきました。2年4組の宋萌花さんは、パネルディスカッションにパネリストとして参加し、10分の発表と留学のきっかけや経験談を話し、さらに、これから留学したい生徒へのアドバイスをしました。また、この講演会に参加した他の3名の2年生もポスターセッション、講演、パネルディスカッションを聞き、大いによい刺激を受けてきました。それでは、4名の参加者の感想を述べてもらいましょう。



### 当日のプログラム

#### 1 「とちぎの高校生課題研究発表会」

ステージ発表 宇都宮白楊高校 (安全安心なトマト栽培)  
栃木高校 (栃木県内に生息する蚊の生息数)  
大田原高校 (ある池の水を抜いた実験)

ポスター発表 宇都宮北高校 (トウキョウサンショウウオを保護するために)  
鹿沼南高校 (トマトタールを落とすには)  
茂木高校 (道の駅茂木の人気を支えるものはトイレ)

※上記の( )は内容であり、タイトルではありません。

#### 2 「グローバル人材育成講演会」

講演「高校時代に行う留学の意義・魅力～トビタテ！留学 JAPAN を通して～」

講師 文部科学省総合教育政策局教育改革・国際課 専門職 加藤賢一 氏

パネルディスカッション 「高校時代に世界とつながること」

パネリスト 佐野高校 宋萌花さん、矢板東高校 手塚都仁さん、講演会講師 加藤賢一氏



私は今回のシンポジウムでスイスでの留学体験を発表しました。最初は緊張しましたが、たくさんの質問を受けることができよかったです。また、自分が発表することによって自分自身の目標も再確認することができました。

加藤先生のお話では現在の世界の問題について知ることができ、自分の次のアクションについて考えました。今回の機会を今後の自分に生かしていきたいと思います。

2年4組 宋 萌花

今回はグローバル人材育成講演とパネルディスカッションがとても面白かったです。講演では加藤賢一氏の言っていた「いつもの環境から自分の知らない環境に踏み出す選択が大切」という言葉がとても心に響きました。私自身こういったことが苦手なのでこの言葉を思い出して行動していきたいと思いました。パネルディスカッションでは宋さんのスイスでの一年間の留学経験を聞きました。そこでは言葉の壁がやはり厚いことを再認識しました。とてもいい経験になって良かったです。

2年3組 王 任道

県内の高校生が多くの興味深い研究を行っており、佐野高校の課題研究も他の学校に引けを取らないレベルであることが実感できました。宋さんの素晴らしい発表など、留学について考えるいい機会にもなりました。僕達に大切なことはアクションを起こすことであると教えていただいたので、自分から積極的に行動することを心がけて生活していきたいと思います。

2年3組 長島 旭

他校の課題研究を見る機会は珍しく、良い経験になった。特に印象に残ったものはトマト栽培時の手の汚れを土で落とすという研究だ。トマトの汚れは普通の石鹸などでは落ちないので土の研磨作用を利用するというものだ。この研究は実際に商品開発段階に進んでいるすごいと思った。ある学校では海外へ植木を輸出していたり、大学と連携していたりなど普通科では難しい内容を研究していた。専門的な知識を知る手段として高校生同士が繋がるという方法があることに気づいた。今後の課題研究活動に生かしたい。

2年3組 河野 航平

